

## 令和6年度 第2回 学校運営協議会記録

日時：令和6年10月30日（水）

9：30～11：30

場所：会議室 記録：山本

### 1 開会

### 2 校長挨拶

- ・令和元年度末から令和3年度に新型コロナウイルス感染症の影響によって、地域がらみの行事ができず、校内での活動をしなければならなくなった。閉鎖的になっていたが、学校運営協議会委員の皆様ののおかげで、現在は学習活動が充実している。PTA主催のハンドベルコンサートでは、素晴らしい音色を聴かせていただいた。芋掘りには、地域の方がたくさん来てくださった。高等部は、地域へたくさん出ている。
- ・学校内では、小学部と中学部は先日修学旅行に行き、中学部1・2年生は桃沢に、高等部1年生はあさぎりで宿泊を行った。学習が充実してきている一方で新たな課題も出てくる。課題に対してはみんなで乗り越えている。皆様の力を借りてさらに充実させていきたい。

### 3 日程説明（副校長）

### 4 報告等（司会：村本会長）

#### （1）本日の協議会の趣旨説明

- ・第1回の運営協議会を受けて、どのような取り組みをしたか、学校評価で運営協議会が先生方にとってどういう存在だったかなど評価から見えてきたことを報告してもらおう。小学部から報告してもらい、その後質疑応答の時間を取る。
- ・グループワーク①では、学校経営計画書の目標にあり、取り組んでいる、「地域貢献」について話してもらおう。学校が果たす地域貢献とは、学校は地域貢献をどのように捉えていけばいいのかという意見をいただきたい。
- ・グループワーク②では、防災の在り方について意見をいただく。

#### （2）第1回以後の進捗状況（各学部主事からスライドを使用して紹介）

##### <小学部>

- ・東レバレーボール教室（小5・6対象）、種まき教室（JAふじ伊豆の方5名来校 小4対象）、地域交流（原地区の方18名が参加）、さつまいも掘り交流（小1～3対象）などの活動があった。
- ・地域の方との関わりの中で、子供たちも成長している。継続してきてくださる方には、子供たちの成長を感じてもらえた。
- ・ダイソーや原団地内の自動販売機、原東小前のバス停、原団地内の公園、マックスバリュにも出掛け、学校周辺を活用させていただき、学習活動の充実につながっている。地域の方は温かい目に対応してくださっているので、ありがたい。

### ＜中学部＞

- ・思春期真ただ中で、体の成長と心の成長が著しい発達段階である。地域に出ていくことが、相手の立場を思いやり、自分の気持ちを伝える機会や経験を広げる場となっている。
- ・まいとりや保育園との交流（中2対象）では、園児が作ってくれたメダルをかけてもらうときには、園児がかけやすいようにかがむ態勢をとる生徒もいた。
- ・原地区の花壇作り（園芸班対象）では、“地域の人が喜んでくれた”という思いがもてるように取り組んでいる。原地区の方が、看板を作成してくれた。場所の提供も含め、地域の人に大切にされているなど感じた瞬間だった。

### ＜高等部＞

- ・社会参加に向けて、地域との関わりが自信につながる。
- ・原地区探検（高1対象）では、学校がある地域を知ること、地域や学校を好きになってもらいたい。商工会から出ているガイドブックを参考に、自分たちでガイドブックを作った。
- ・飛龍高校交流（高1対象）では、高校生にガイダンスを行い、本校の生徒について知ってもらう機会も設けている。
- ・あしたか保育園交流（高2対象）では、普段なかなか素直になれない生徒たちも、相手を思いやる気持ちをもって接していた。
- ・職業教育展や福祉まつり、地域清掃やクリーン作戦への参加、ゲストティーチャーを招いての作業学習や体育の授業を行っている。

### （３）質疑応答

- （委員）報告を聞いて、自分も参加したいなと思った。スライドを詳しくみたいので印刷してもらえるとありがたい。
- （委員）「こういうことをやっています」というのを知ってもらえると良い。一生懸命やっていると思う。地域の人が、一緒にやれるということが良い。PTAのサッカー教室があったが、実際にサッカー場に行ってみることは難しいか？市と連携して、市民の応援で盛り上げようという動きがある。アスルクラロ沼津の試合応援に行ってもらって、本物を見るということも良いのではないか？無料というわけにはいかないが。
- （委員）本物の体験は良い。サッカー部もあるので、プロの動きを見て刺激を受けることも良い経験になる。
- （委員）活動しているということを外に発信することが必要。ハンドベルコンサートは音が大事なので、写真よりも動画の方が良い。ショート動画だと見てもらえる。

(委員) ハンドベルコンサートのハンドベルの先生は、みらい音楽館も行っていて、当日はみらい音楽館の子も演奏してくれた。今回はハンドベルに触る体験を行ったが、次回は自分で音を出す体験ができるようにしたい。

#### (4) 前期学校評価の報告

(副校長) 学校評価について、教員が学校運営協議会のことを知ることができるように、掲示物を作成したり発信したりした。知る機会が少ないと感じる教員もまだいるので、情報が伝わるようにしていきたい。

(校長) 改善したい意見が昨年度と比べて減ってきた。発信は自校の課題である。

#### (5) 質疑応答

(委員) 学校運営協議会が、学校が一つにまとまっていく足がかりになればと思う。

(委員) 1年間のスケジュールの内容を伝えてもらえると顔を出すことができる。

(委員) 外に出て活動することで、校内では見られなかった言葉、行動、しぐさが見られる場合もある。「ここがしっかりできればいいな」と気付くことができる。

(委員) 地域の人が生徒と話ができる機会があると、沼特の生徒にも理解が深まる。知らないことで、近寄らずに話しかけない方が良いと思っている人も思う。

(委員) 「地域貢献とは」ということを、グループ協議でたくさん話をしてもらえると良い。

### 5 グループ協議

(1) 学校経営計画にある（つながりの精選と地域への貢献）について

(2) 地域と連携した本校の防災体制の在り方について

(教頭) 避難訓練を行うときに地域の方に来ていただき、見ていただいた。地域の情報を教えていただいたり、レポートを作ってください、地域の方に紹介していただいたりした。昨年度から本校を福祉避難所として指定されるように沼津市と話し合いを進めてきた。来年度指定避難所になる見込みである。本校には、長泉や清水町から通っている子もいる。清水町は、協定について検討するという話をいただいている。長泉町とも、こういった形でやっていけるのか話を進めている。

#### (3) 提案等の共有、意見交換

＜(1) 学校経営計画にある（つながりの精選と地域への貢献）について＞

A：イラストをデータにして素材として集めておく。商工会で発行しているカレンダーには、小中学生に描いてもらったイラストを使用している。三島にあひる図書館というものがある。空き教室があれば、ブースとして貸し出して活用してもらってもできるのではないかな。

B：学校があること自体貢献となっているというありがたいお言葉をいただいた。障害を持っている子が安心して生活できる場となっている。原地区の交流は多いと思う。他の居住地域も交流できると良い。

C：年間で決まったことを情報発信してもらえると地域ボランティアに行きやすい。長泉町社会福祉協議会ではボランティア部があり、例えば、桃沢のキャンプのときに一緒に準備をしたり、当日活動の手伝いをすることもできる。また、インスタで発信するなど、やっていることを発信していくこともできると良い。

(委員) イラストを素材として取っておくことは面白い。

(委員) 商工会で出しているマップを手書きで描いてほしかった。好きな分野のイラストしか描けないとの話があった。

(委員) 地域の物にも使える。

(委員) 自分の息子は絵を描くことが好きで、ネットにイラストを出したこともある。それを見た企業から声がかかり使ってくれている。データとして残したり、発信したりしていくと良い。

## ＜（２）地域と連携した本校の防災体制の在り方について＞

A：学校の周りに水が出たら、本校に来ることができない、行ったら出られないということも考えられる。洪水の訓練も必要。身体が反応するまで訓練を行うことが必要であるが、何のために逃げるのかといったように意味を持った訓練を行わなければならない。

B：避難訓練が多いのはいいことだと思う。ソーラーパネルは直しておくとい

C：スクールバスは動けなくなった時の避難訓練をしておく必要がある。避難所では、人数の問題が大きく、対応がうまくできるだろうか。清水町には防災センターや福祉センターが福祉避難所となっている。地域の人にはお知らせをしている。長期の避難となったときに学校に移動するとかも考えられる。

(校長) 輝望会は、たくさんの事業所があるが、沼津市と協定を取っているか？

(委員) 協定を取っている事業所もある。防災無線で情報のやり取りができるようになっている。山が多いところは無線が届かないこともある。

(委員) 災害時、スクールバスとどう連絡をとるかということも考えておく必要がある。

(委員) この地域はよく水があふれるので、人が住むところではないという感覚をもっておく必要がある。保護者にも学校周辺の通行可能な道を知らせておく必要があると思う。下水、トイレも困る可能性がある。

(委 員) 地震のとき、液状化してしまうとどうなのか。学校まで迎えに来ることができるのか心配である。以前下校が早くなったときに、バスがどこにいるか分からないという保護者の意見もあった。

(委 員) 気付きをたくさん得られることができたと思うので、意見を参考にしてもらえればと思う。

## 6 諸連絡（副校長）

- ・交通費について
- ・第3回の学校運営協議会は、個別の学校参観という形で行う。2時間くらいを予定している。
- ・最終回は、令和7年2月5日

(校 長) 本日は、ありがとうございました。学校評議委員会から学校運営協議会になって、ありがたいということを実感している。取組の良さを共有することができた。急いでやらなければならないことにはすぐに取り組んでいきたい。気付きをたくさんいただき、学校としてまだまだやれる可能性があると思っている。次回に活かしていきたい。